

祝 「ふれあい」500号記念号

昭和56年6月1日に創刊号として、「金栄公民館だより」が発刊されました。同年4月に金栄公民館が新築され、新しいスタートを切りました。当時は手書きで枚数を数えながらの印刷だったそうです。先人の努力があって、今の公民館そして金栄があります。金栄校区には素晴らしい活動もたくさんあり、これらを後世へと繋いでいかなければなりません。金栄校区の皆様で心をつなげて、素晴らしい地域となるようこれからもよろしく願いいたします。そして、館報「ふれあい」が600号、700号と続きますよう頑張ってください。

「ふれあい」500号に寄せて
相原知可子
 この度は「ふれあい」500号記念号発刊、誠にありがとうございます。毎月地域に寄り添った様々な記事から金栄校区の皆様の日々を感じる事ができ、楽しみに読んでいます。
 私は2013年に千葉県から新居浜市へ移ってきたのですが、知り合いもできずに1年が過ぎ、誰かとつながりたいと思っていた頃に愛護班の存在を知り飛びつくように参加させて頂きました。その後愛護班の中で広報部を担当し、「ふれあい」の編集に携わる事になりました。
 毎月、公民館職員の方々が苦勞されながら作成した原稿に対し各団体の皆様と一緒に校閲作業をし、発行前の紙面を最初に読むことができる特権と共に楽しくお手伝いさせて頂きました。この「ふれあい」の広報担当になった事が公民館と私をつなげてくれて、そしてたくさんの方と知り合える機会を与えてくれました。本当に感謝しています。
 コロナ禍においても地域のつながりを大切に、金栄校区の皆様の方に元気を与える「ふれあい」と公民館活動のますますのご発展をお祈り申し上げます。

館報「ふれあい」500号を迎えて 金栄公民館長 小野英昭
 金栄公民館が昭和五十六年四月に創立して四十一年目となり、館報「ふれあい」500号を発刊する事が出来ました。一口に500号と言っても、館報は地域に根差した広報誌であり、地域住民の皆様のご協力なしには継続しての発刊はできません。その意味で館報作成に携わって来られた歴代広報部員の先輩諸氏や公民館職員のご努力に敬意を表します。
 令和元年の暮れに端を発し、現在も世界的な感染拡大を続けている新型コロナウイルスの關係で、公民館行事も三年間に亘って中止の止む無きに至っており、館報の編集作成にも苦慮しているところですが、公民館活動の原点とも言える「つどい」「まなぶ」「むすぶ」の人と人とのふれあいの場が早期に復活出来る事を祈らずにはいられません。今後とも館報「ふれあい」をご愛読頂きますようお願い致します。

ふれあい 金栄だより

令和4年 6月末現在
 世帯数: 2,932
 人口: 6,179
 男性: 3,001
 女性: 3,178

金栄公民館 広報部
 TEL 33-3212



『ふれあい』2100号 記念座談会
 平成九年十二月二十日(土)午
 前十一時より金栄公民館におい
 て発行された『ふれあい』2100号
 出刊に向けて、いろいろな意見を

- 【出席者】
 定岡 勤 (運審委員長)
 真鍋 隆俊 (連合自治会)
 佐々木 秋山 (連合老人会)
 遠藤 敦子 (校区婦人会)
 徳永 正雄 (金栄社協)
 平田 堅一・村上 国代 (総務広報部)
 真木 貞由美・川人 善行
- 【遠藤】
 館報のスペースの活用をすればいいと思う。
 例え、記事が少ないときも、力をいれて、記事が少なくなると、各団体の活動の掲載を、各月の行事の案内も掲載したいと思う。
- 【佐々木】
 他の公民館だより等も研究して、金栄独自のふれあいを作ってほしい。
 また、多少ページ数を増やしても発行すればいいと思う。
- 【平田】
 ページ数を増やして、校区の取材をしてもいい人がいるので、なかな難しいと思う。

年	館長	主事	主事補	管理人	できごと
S56	津根 増雄	瀧本 敏秀	寺田 信二	秦	・金栄公民館設立
S57					・金栄公民館だより発刊
S58	佐野 茂	井上 毅	菊元 恵子	サト子	・金栄小開校30周年記念植樹(桜100本)
S59					・ドリームツリー設立
S60					
S62					
S63					

創刊号は手書きです!

創刊号 56.6.1 金栄公民館だより

行所 金栄公民館 TEL 33-3212 広報部

【元祖】
 社会教育の中心地たる公民館は、旧町役場の跡地であった大抵の夜は、たれも流用し且つ、夜更建造物として次々に新築された。
 昭和二十八年、金子から金栄小が分離新築され、泉川、中教、徳岡校舎の一部を編入、行政の編入は十五年後、為、自治会も複数、又旧建物もなかった。
 身障センターの完成の為、はげみの安部五郎の由と聞き、校舎四層五人で昭和五十一年六月公民館代りに使用させて頂く為、陳情書も市長議長に提出したが、陳情書では効果のない事を知り、直ちに請願書を作成し、行動して

【新築を祝して】
 建設のお百度と、慶賀、建坪四五六平方メートル、総費五三三二七万円(内、回費一四〇〇万円)で希望は充足された。皆で、よ、人よ、所造りの契機にして頂きたい。
 前金栄校長 連合自治会長 中野秀雄

【創刊号より一部抜粋】

H元	高橋勝明	三沢清人	菊元恵子	・館報100号発刊			
H2				・金栄社会福祉協議会発足(現:新居浜市社会福祉協議会金栄支部)			
H3				真鍋八重子		初期の公民館	
H4							・県教育長・県公連会長連盟表彰
H5							・「金栄ふるさと誌」完成
H6							・「金栄トンカカさん踊り保存会」と「金栄実りの会」設立
H7							この頃は、小学校体育館で開催
H8	・ドリームツリー10周年記念						
H9	田坂	青野進太郎	安藤和子	・館報200号発刊・公民館2階大会議室を絨毯にする			
H10				・第1回ドリームツリー「金栄ふれあい広場」開催			
H11				中野内		中条千代美	・「金栄ふれあいの家」スタート
H12							・「金栄校区人権を守る会」設立・金栄小創立50周年記念式典
H13							
H14	富美子	加藤不士夫	登美子	・台風21号により公民館、小学校は浸水(公民館和室以外は床上浸水、避難者46名)・文化祭中止			
H15				・「福祉ボランティアの会」設立			
H16	遠藤敦子	安葉礼子	加藤博子	・見守りボランティア発会式・「かるがもクラブ」スタート			
H17				・自主防災会設立・公民館玄関前の庭木伐採(駐車場にする為)			
H18				・菊元恵子さんよりピアノ寄贈・ドリームツリー20周年記念			
H19				・「金栄ふれあいの家」50回記念・館報300号発刊			
H20	遠藤敦子	安葉礼子	加藤博子	・創造学園より卓球台2台寄贈			
H21				・公民館建物のハチマキのペンキ塗り・創造学園より流し台寄贈(管理人室東)			
H22				・行事予定ホワイトボード寄贈(高橋勝明さん遺族より)			
H23				地域主導型公民館スタート・防災スクールモデル事業開講式			
H24				・やぐら、ちょうちん、紅白幕購入・金栄校区盆踊りの復活			
H25	吉川(高津)	衣子 秦麻	真鍋政子	・県教育長・県公連会長連盟表彰・大会議室のステージ位置を南から北へ移動			
H26				・金栄小5年と防災マップ作り(以降毎年実施)・大会議室全壁面ペンキ塗り			
H27				・防災無線事務室へ引き込み作業・東日本大震災			
H28	塩見進	八木良枝	真鍋政子	・「よりみち」完成、オープンセレモニー(4月11日)・下水道工事(浄化槽取壊し)・東側舗装工事			
H29				・外用折り畳みイス200脚購入・和室、調理室カーテン新調・「かるがもクラブ」ブロック塀に絵を描く			
H30	小野英昭	合田千織	久枝 阿波根	・金栄小60周年記念・金栄小3年生にトンカカさん踊りの指導開始(以後、小学校運動会種目となる)	コロナによる 受難の3年間		
H31				・トイレ改修工事・「ふれあいの家」100回記念・大会議室舞台どん帳完成			
R1				・文部科学省、優良公民館表彰授賞式(3月4日文科省庁舎にて館長出席)			
R2				・金栄小プール完成・「金栄公民館」看板新調・館報400号記念発刊			
R3	小野英昭	合田千織	久枝 阿波根	・「金栄ふれあいランド」始まる・防災マップ2年連続最優秀賞	コロナによる 受難の3年間		
R4				・校区芸能発表会を「あかがねミュージアム」で開催(以後、あかがねミュージアムで)			
R5	小野英昭	合田千織	久枝 阿波根	・「金栄手伝い隊」発足	コロナによる 受難の3年間		
R6				・コロナによる長期公民館休館、運動会中止、盆踊り中止、文化祭中止、芸能発表会中止・「アマビエの樹」シリーズスタート			
R7				・公民館タブレット支給(wi-fi設置)			
R8	小野英昭	合田千織	久枝 阿波根	・公民館外壁塗装・館報500号記念発刊・子ども教室タブレット支給	コロナによる 受難の3年間		
R9				・金栄小70周年記念(校旗新調、宇宙プロジェクトで航空撮影)			
R10	小野英昭	合田千織	久枝 阿波根	・「トンカカさん踊り」発表会にかるがもクラブ参加	コロナによる 受難の3年間		
R11							

